

与恬情

浮名

横櫛

浙川

如皋系稿

初編

採四舍好交作

一勇高園芳画

榮之堂文库



子活情

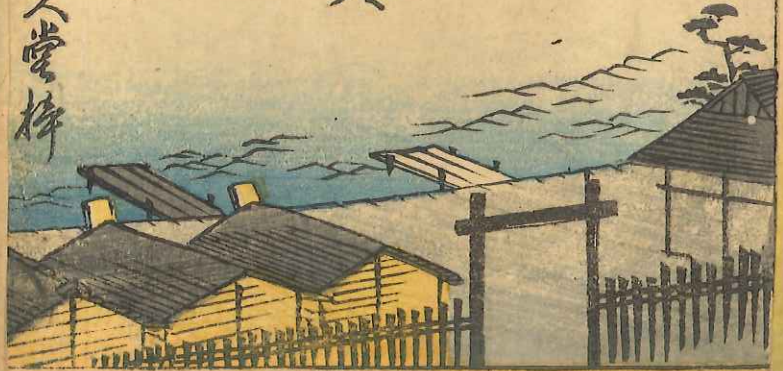
浮名横擲

初編上巻

川如鼻系行

楳田舎好文化

一勇斎國芳画 榮久堂梓



日日新而又日日新ありといふ実ふ當時の流行都ての妻が

か者形が〜めびとを好む中やも水無月の氷りの云

嚴寒の比より鶯を轉せ弥生の中旬ふ初鯉と求と

欲今世の人情既ふ是ある於登美与三郎の小説奇談も

往昔よりかろつて〜鑛倉時代の事あるが古よりと

の〜新ら〜き妓戯の花と折とて瀬川大人の

新規の翻案との初物とと鯉ふひう〜榮久堂の

需ふより一勇斎の調進方ふる〜ひざろと造す〜

荒割早い町賞翫と香竹合はる洋〜さ〜僕ハ

素より梓えの倅僥ろ〜ん

下皆嘉永六繪

癸丑弥生日發市

四楳田舎好文誌

福











此の衣紋は
 江戸の流行
 であるといふ
 人もあるが
 此の衣紋は
 江戸の流行
 であるといふ
 人もあるが

此の衣紋は
 江戸の流行
 であるといふ
 人もあるが
 此の衣紋は
 江戸の流行
 であるといふ
 人もあるが



此の衣紋は
 江戸の流行
 であるといふ
 人もあるが
 此の衣紋は
 江戸の流行
 であるといふ
 人もあるが

此の衣紋は
 江戸の流行
 であるといふ
 人もあるが
 此の衣紋は
 江戸の流行
 であるといふ
 人もあるが

此の物語は、昔の事だ。
 行商の道に、旅の者
 多くあつた。その中
 には、悪徳の徒も
 少くない。彼等は
 旅人の物を盗む
 事、よく知つた。
 此の物語は、その
 中の一つだ。
 旅人が、山を越
 して、村に着いた。
 村の長老は、旅人
 を呼んで、話を
 聞いた。旅人は、
 村の長老に、自
 分の事を話した。
 長老は、旅人に
 助言をした。
 旅人は、長老の
 助言に従つた。
 旅人は、村を
 出て、山を越
 して、旅の道に
 出た。



此の物語は、昔の事だ。
 行商の道に、旅の者
 多くあつた。その中
 には、悪徳の徒も
 少くない。彼等は
 旅人の物を盗む
 事、よく知つた。
 此の物語は、その
 中の一つだ。
 旅人が、山を越
 して、村に着いた。
 村の長老は、旅人
 を呼んで、話を
 聞いた。旅人は、
 村の長老に、自
 分の事を話した。
 長老は、旅人に
 助言をした。
 旅人は、長老の
 助言に従つた。
 旅人は、村を
 出て、山を越
 して、旅の道に
 出た。





此の物語は、平馬の忠告を聞き、松平の御用を勤め、御座り申す。此の物語は、平馬の忠告を聞き、松平の御用を勤め、御座り申す。

此の物語は、平馬の忠告を聞き、松平の御用を勤め、御座り申す。此の物語は、平馬の忠告を聞き、松平の御用を勤め、御座り申す。

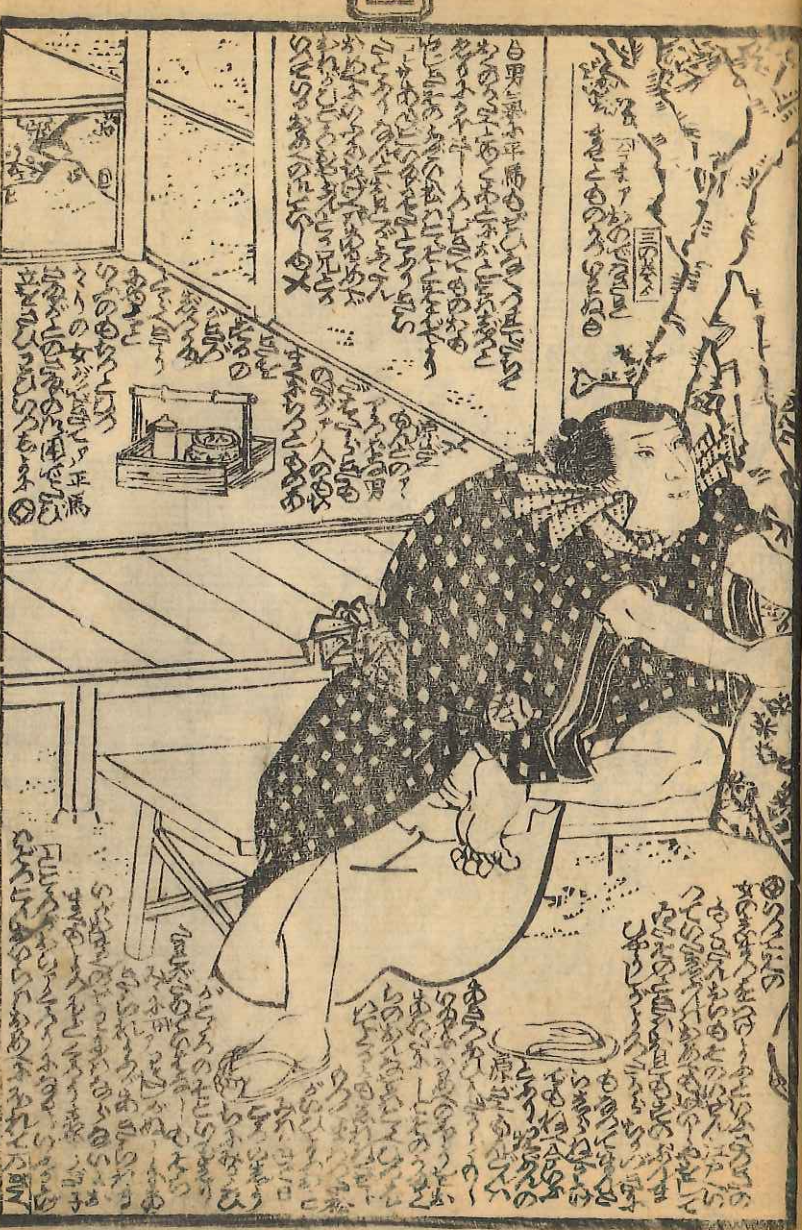
此の物語は、平馬の忠告を聞き、松平の御用を勤め、御座り申す。此の物語は、平馬の忠告を聞き、松平の御用を勤め、御座り申す。



此の物語は、平馬の忠告を聞き、松平の御用を勤め、御座り申す。此の物語は、平馬の忠告を聞き、松平の御用を勤め、御座り申す。

此の物語は、平馬の忠告を聞き、松平の御用を勤め、御座り申す。此の物語は、平馬の忠告を聞き、松平の御用を勤め、御座り申す。





Handwritten text in vertical columns, likely a narrative or commentary, surrounding the illustration of a woman on the right page.



Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or commentary from the right page, surrounding the illustration of a woman on the left page.

黄節 刀編

Handwritten text in vertical columns, likely a narrative or commentary, surrounding the illustration of a woman on the left page.





